

薬剤耐性(AMR)



県感染症情報センター

声なき感染症を知る

◆79◆

日本政府は薬剤耐性(AMR)に係る全
国的な普及啓発活動を推進するため、毎年
11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」
に設定しています。薬剤耐性は、医療機関
だけでなく身近な問題になりつつあり、薬
剤耐性の微生物を増やさないために我々が
できることを考えなおす良い機会です。今
回は、「薬剤耐性(AMR)」についてお
話します。

▽薬剤耐性(AMR)とは

AMRは、「Antimicrobial
Resistance(アンチマイク
ロバイアル・レジスタンス)」の略語で、
特定の種類の抗菌薬や抗ウイルス薬などの
抗微生物薬が効きにくくなる、または効か
なくなることです。

耐性を持った細菌やウイルスが増える
と、薬が効かなくなることや治療するため
の薬の選択肢が少なくなります。これまで
は、感染、発症しても適切に治療すれば軽
症で回復できた感染症が、治療が難しくな
って重症化しやすくなり、さらには死亡に
至る可能性が高まります。

特に高齢者や免疫が低下している人が多
くいる医療機関で発生し、周囲に広がるこ
の影響は大きいですが、医療機関外、例えば
下水などの環境中にも耐性菌を検出したと

いう研究もあり、身近な問題となってきて
います。このように耐性菌が拡散すると、
抗菌薬の投与を受けたことがない人が感染
症にかかった場合でも耐性菌が原因となっ
ていることがあります。

薬剤耐性の微生物は細菌だけではなくウ

身近に迫る社会問題 風邪に抗菌薬は無効

ウイルスや真菌(カビ)でも問題になってお
り、特に大きな問題となっているのは薬剤
耐性菌です。

▽共存する人間と細菌

我々の体内は無菌ではなく、さまざま
細菌と共存しています。口や腸の中にある
細菌は食べ物の消化を助けた
り、外部から侵入する悪い菌の
増殖を防いだりしています。

例えば、ヨーグルトに含まれ
る乳酸菌やビフィズス菌などは
善玉菌と呼ばれ、消化吸収を助
けたり、病気に対する抵抗力を
付ける働きをします。すべての

細菌が人間にとって有害であるわけでは
なく、生命を維持する上で重要な役割を果た
している細菌もあります。

▽耐性菌が生まれる仕組み

抗菌薬は細菌を退治するための薬であ
り、細菌感染症にかかった人間にとっては
有益ですが、細菌にとっては有害です。そ
のため、細菌はさまざまな方法で生き残り
ようとします。例えば、細菌の中に入っ
た抗菌薬を排出しようとしていたり、抗菌薬が
作用する部分を変化させ、抗菌薬を無効化

したりします。このような耐性機構は、細
菌が本来もっていたり、他の細菌から譲り
受けたり、抗菌薬投与により誘導されたり
します。

▽薬剤耐性菌を増やさないために

先に述べたように、すべての細菌が病気

を引き起こすわけではなく、また人間には
非常に数多くの細菌が住み着いているので
すが、普段は病気を引き起こすことはありません。
そして、その中で、耐性を獲得し
ようとする細菌は、自分が持っている本来
の能力を一部変化させることにエネルギー
を費やすため、少数派で細々と生きている
ことが多いです。

しかし、抗菌薬が投与されている状況だ
と、耐性菌が多数派になってしまいます。
薬剤耐性菌を増やさないためには、必要以
上に幅広い菌に効く抗菌薬を不十分な量や
期間服用しないことが大切です。

▽かぜやインフルエンザ、新型コロナウイルスに 抗菌薬は効かない

抗菌薬は細菌に対する薬なので、当然な
がら細菌感染症でなければ治療に必要あり
ません。風邪やインフルエンザ、新型コロ
ナはウイルス感染症であり、抗菌薬は効き
ません。

薬剤耐性菌を増やさないためには、医師
が細菌感染症と診断し、処方された抗菌薬
を指示通り飲み切るなど適切に使用するこ
とが大事です。

▽将来のために今できること

薬剤耐性菌が増えている一方で、それに
対抗するための抗菌薬の開発はそれほど進
んでいません。現状のままAMRが増加し
続ければ、2050年には世界におけるA
MRによる死亡者が年間1千万人にも達
し、がんによる死亡者を超えると推計され
ています。子どもたちの世代に大事な抗菌
薬を残していくために、国民一人ひとりが
耐性菌の問題を意識し、取り組んでいきま
しょう。



「薬剤耐性」の啓発用ポスター(出典・AMR臨床センターファレンスページ)を適切に使用することにつながる